

彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和5年12月21日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 5人出席	教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 本田 啓子 委員 小松 照明 委員 永濱 隆 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 前川 学 教育部次長(教育総務課長) 小島 久喜 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校ICT推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 林 宏 博物館管理課長 野村 雅之 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	
1 開会	午後1時30分
2 議題	内 容 なし(報告事項等のみ)
3 その他	内 容 別添のとおり
4 閉会	午後2時03分

1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、ございません。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」の後、1件の報告事項を説明させていただきます。その後、「次第4 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第5 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、まず私から「教育長報告」をさせていただきます。

11月22日水曜日、彦根商工会議所で開催されました、ひこねKidsプログラミングコンテスト2023の表彰式に出席をしました。

11月24日金曜日、12月の定例校長会議をWeb会議として本庁で実施をしました。午後になりますが、東中学校が近畿中学校総合体育大会駅伝の部、それから全国中学校駅伝大会出場を決められましたので、激励の訪問をさせていただきました。

11月26日日曜日、彦根商工会議所で、第11回「家族のきずな」作文の表彰式がありましたので、出席をしました。

11月27日月曜日、11月市議会が開会されましたので、自席で傍聴をさせていただきました。

11月28日火曜日、佐和山小学校で、滋賀大学おとさぼ&近江シンフォニッタのスクールコンサートが開催されましたので、出席をさせていただきました。

12月4日月曜日から、市議会の個人質問が6日水曜日までの日程で実施をされましたので、出席をし、答弁をさせていただきました。

12月8日金曜日ですが、予算常任委員会が開催されましたので、出席をしました。

12月12日火曜日ですが、東京都港区教育委員会の行政視察があり、受入れをしましたので、対応をさせていただきました。

12月13日水曜日ですが、福祉病院教育常任委員会が開催されましたので、出席をしました。

12月18日月曜日、11月市議会が閉会となりましたので、自席で傍聴をさせていただきました。

12月19日火曜日ですが、舟橋聖一文学賞および舟橋聖一顕彰青年文学賞の授賞式を本庁で行い、教育委員の皆さんと出席をしました。

12月21日木曜日ですが、本日12月の教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

永瀆委員 東京都港区教育委員会からの視察研修会の受入れという報告を聞いたのですが、内容について何でしたでしょうか。特別な目的を持って来られたのかどうかということだけ教えていただけませんか。

教育長 東京都港区教育委員会の視察ですが、学校のICT活用をテーマとして来ていただきました。本市の対応としては、本庁の方で本市の取組み、ICT活用の取組みについて概要を説明した後で、河瀬小学校のアクティブラーニング教室で授業参観をしていただきました。

2 前回会議録の承認

3 報告事項

教育長 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和5年11月市議会について」報告をお願いします。

教育部次長から報告がありました。

田附委員 黒澤議員からの質問で地域部活動の件ですが、保護者からの負担もあって、なかなか運営費が少なく大変だといろいろ聞いています。その辺りの補助について、市から国とか県へ要望していただいていると思うのですが、もっとしっかりと予算がないと他の地域に広げても運営がうまくできないような状況になるのではないかと聞いていますので、その辺もぜひ配慮をしていただきたいと思います。あともう1つ、例えば地域部活動の活動中にけがをした場合、学校運営管理下ではスポーツ振興センターの保険があって、10年間補償とか障害見舞金とかいろいろな制度があるのですが、地域部活動で入っている保険については、そういう補償とかがどの程度となっているのか、お聞きしたいです。

学校教育課長 黒澤議員からの質問について、保護者負担のことや市として存続可能な仕組みづくり等についてご質問いただいて、回答をしています。持続可能としていくためには、財源について、市の予算、国や県からの補助は当然必要であるということに加えて、スポーツ部に対しての質問もありまして、市としてどのように取り組むのかという質問もありました。

2点目の保険についてですが、学校安全会の保険を適用されますと、治療を終えた後の回復に向けた取組み、10年程度の補償等が見舞金も含めて出されますが、地域部活動については、スポ少等でよく入っているスポーツ安全保険を適用しています。これについては、一定の治療が終結すると、そこまでの保険になりますので、十分説明した上で実施してもらっています。なお、子どものけがについては、積み重ねていった後のけがということもありますので、学校体育をはじめ学校部活動でのけがなのか、それが積み重なった結果、最終的に地域部活動中でのことではあっても疲労骨折等であれば、積み重なって起こるものですので、学校とも連携しています。

本田職務代理者 小川吉則議員が国際交流についていろいろ質問をされて、それに対して答えています。アナーバー市との交流が見えなくなっていく方向であると聞きましたが、せっかくなので何もかもなくすのではなく、その部分の検討、活用する方向でやっていって欲しいと思います。昔、小学校ではスカイプを使った交流というのを聞いたことがあるのですが、そういうことはもう全然やっていないのでしょうか。

学校支援・人権・いじめ対策課長 各校で独自にされているところはありますし、例えば中学校ですと、ユネスコスクールに加盟している学校でオンライン交流をしているところもあります。今年実施しているかどうかは把握できていませんが、以前はそういう交流もありました。ミシガン州立大学日本連合センター(JCMU)との交流については、今年、次年度に向けての構想ということで、当課からJCMUを訪問させてもらって、実際にどういう活動を留学生がされているのか、幾つか拝見させていただきました。向こうのプログラムもあり、それを曲げてまでこちらを受け入れてくださいとは言えませんので、このプログラムの中にこちらの中学生が何か関わるができるのであればと思う中で、向こうの方と相談させていただいているところです。また、オンライン交流も当然、来年度に何らかの構想を作っていこうと思っています。それとは別に外部評価委員会からのお話もあったのですが、市内にも大勢の外国人住民の方がいらっしゃいますので、例えば人権の視点で、そういう方々を学校にお招きし、お話を聞かせていただくなど、身近な資源を活用するというのも試みて欲しいというご意見もいただいていますので、そういったことも含めて検討していきたいと思っています。

本田職務代理者 子どもたちの直接的な経験とか体験っていうのはすごく残ると思うので、できるだけよろしくをお願いします。

4 各所属の取組事項について

小松委員 学校教育課と学校給食センターにお聞きします。まず学校教育課の中学生チャレンジウィーク事業、これは職場体験のことだと思うのですが、中2生徒984人となっていますけれど、これはほぼ全員が受けるようになっているのかということです。もう1つは、協力事業所総数が297社ですが、この協力先を探すのに今はあまり苦労しなくても見つけられているのか、やはりかなり苦労して探しているのか、彦根市内の事業者の協力度合いはどのようにか。事業の主旨を十分理解していただいて、非常に協力的な環境にあるのか。以前、私もそういう協力はしていたのですが、その企業の立場から言うと、安全の問題とかもいろいろややこしいので、できたら受け入れたくないという声もあったので。現状がどのような協力体制なのかわかれば教えて欲しいです。それと学校給食センターですが、公募プロポーザルの結果報告で、魚国総本社が全体の4校とも受けるという結果になっています。今、公募プロポーザルでこういう給食委託を募集した時に、何社ぐらいが応募してくるのですか。圧倒的に魚国総本社がよかったから、全部そうになっていると思うのですが、何社ぐらい応募があったのか、その選定経緯を教えてください。

学校教育課長 参加人数の984人というのは7中学校全部の生徒数ですので、ほぼ何らかの形で参加できています。ただ、3日間の中で1日だけ参加できたとか、事前の体験だけ参加できたとか、そういったことを含めて何らかの形で参加できているということです。学校にはほぼ行けていない、不登校の子どもたちについてはそういった取組みをしながらも、参加できなかった生徒もいます。2つ目の297社の協力具合ですが、最初はチャレンジウィークを5日間として取組みを始めました。その時は、協力していただくために、市教育委員会の当時の担当者それから各学校からも捻出してもらって、商工会議所をはじめ、様々な企業等にお世話になって何とか実施してきました。それが、5日間から、コロナもあり県全体で3日間までとされています。3日間になったことで、受入れしてもらいやすくなったと聞いています。また、活動内容もこの2年3年間はいろいろ工夫されていると聞いています。今年が一番早い学校が6月14日からであり、コロナが5類に移行した直後であったので、手探りで取り組んだというところもあります。第4期、第5期となる11月実施では、ほぼ以前のような取組みができているところもあります。

学校給食センター所長 今回の公募プロポーザルでどれだけの業者が参加されたのかということ

とその審査方法についてですが、今回は4校の小学校でプロポーザルを実施しまして、最終的な結果は4校とも株式会社魚国総本社ということになっており、実際に応募された事業者は、最終的にはこの魚国総本社1社のみでした。過去の事例ですと3、4社ぐらい応募されていることが常であり、今回の現地説明会では3社が参加されたのですが、最終的には応募が1社のみということでした。この1社の応募に対して審査会で審査をしまして、1つずつ項目があり、その項目の合計点数が150点満点となっていて、そのうちの6割以上をクリアしていれば合格の選定という基準になっています。その基準をクリアしたことで、この魚国総本社が4校とも選定となったということです。ちなみに、他の業者が参加されなかった理由について業者の方に確認しまして、いくつか理由を聞いています。1つは最近の人手不足というのがかなり深刻化してしまっていて、どこの業者もなかなか人材確保ができず新規に事業開拓することができないということです。それともう1つは、今年の9月に給食調理業務を全国で展開されている広島県の給食調理事業者が経営破綻し、全国的に大きな影響が出たことにより、各事業者が自社を締め直す形で事業拡大等の攻めの姿勢から守りの姿勢に変わったということも言っていました。3つ目は、この事業者が倒産されたことによって、給食の提供がストップした学校や施設の給食調理業務を救済的に他事業者が引き受けたということになり、他に事業を受託する余裕がなくなったということも聞いています。これらの要因によって、応募事業者が減ってしまったと考えています。この魚国総本社についてはこの4つの学校で現在受託している事業者でして、そのまま継続になるのですが、6年度も引き続き調理を委託していくという予定になっています。

永瀆委員 学校給食センターにお聞きします。先ほどの答えの中で、大きな会社が倒産したという話が出ました。公募プロポーザルで選定する時に、内容を主として選定基準を作成すると思うのですが、基本的にその会社の経営状況について、経営状況が不安定な会社がいくら条件のよい提案を出してこられても、経営状態が悪ければ内容がずれるかわからないと思います。この業界ではそういうのが今後増えるのかどうかわかりませんが、経営状況に関して調べることはしているのですか。

学校給食センター所長 公募プロポーザルで審査をする時に、事前に提案書を提出してもらおうのですが、その中に資本の状況、会社の状況とか全国でどれぐらいの学校で受託しているのかとか、そのようなものを一式出してもらっています。それを見て、経営的に特に問題ないと判断しています。この魚国総本社はどちらかといえば全国的には大手に当たる会社で、2020

年頃のデータになるのですが、売上高は全国の給食調理提供事業者の業界の中で7位にランクされている大手になります。大手だから安心ということはないのですが、これまで4校の給食業務を受託していて、会社の内容も把握していますので、その結果問題ないと判断をしました。

永瀆委員 売り上げはあっても、その純利益はどうかというところが問題だと思います。売り上げが多くても破綻する企業はあるわけですから。そこもクリアされているということでしょうか。

学校給食センター所長 資料では全国の売上高の資料しかなかったので決算ではないのですが、実際に提出してもらった損益計算書とか貸借対照表とかで、その辺は特に問題ないと判断しています。

永瀆委員 幼児課の今後計画されている研修ですが、「1～3年目職員研修」が1月15日で採用後1～3年目の方、中堅職員研修が経験10年目以上の方を対象にして、そういう予定を組まれています。これは全員義務参加の研修会なのでしょうか。

幼児課長 必須参加としています。

田附委員 学校ICT推進課にお聞きします。不登校の子どもと学校の授業は、今繋がっている状況かと思います。例えば、家で勉強したいと思ってタブレットがあれば、学校の授業とかを流してもらえるのかどうか、そういうシステムを今はもうほとんどの学校でやっているのでしょうか。

学校ICT推進課長 今の点ですが、すでに去年、一昨年ぐらいから徐々にそういった取組みが進んでいまして、各学校に配信用の設備も順次提供し現在はすべて完備しています。その中で、保護者の方あるいは当事者である不登校の児童生徒自身の意思を確認しながら、押し付けではなく可能な範囲で実現するような取組みを実施しているところです。

5 その他

各委員 なし。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

1月の会議は、1月25日木曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。